施策評価(令和元年度)

1 基本項目

基本目標 1	生涯を通じて学び育つまち
基本施策 1	子育て支援と保育・幼児教育の充実
施 策 2	保育·幼児教育

基本方針

乳幼児期にある子どもたちが健やかに成長できるよう、保育・幼児教育環境の整備・支援に取り組むとともに、小学校への円滑な就学を支援します。

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性(必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
民間保育園等における保育の質の向上に向けた支援施策の実施	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
保育・幼児教育の提供体制の確保・充実	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
多様なニーズに対応した保育事業の実施	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
発達支援体制の充実	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続

3 施策評価結果

施策2「保育・幼児教育」では、4事業について評価を実施した。

進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。

本施策の基本方針は、「乳幼児期にある子どもたちが健やかに成長できるよう、保育・幼児教育環境の整備・支援に取り組むとともに、小学校への円滑な就学を支援する」ことであり、「民間保育園等における保育の質の向上に向けた支援施策の実施」においては、保育所等における児童の安全対策強化事業補助金交付事業や、保育従事職員宿舎借り上げ支援事業補助金交付事業を実施し、保育・幼児教育の質のさらなる向上につながっている。

「保育・幼児教育の提供体制の確保・充実」においては、保育需要が高い低年齢児を中心とした定員拡大や、東京都の指導検査及び市の単独検査に取り組んだほか、「多様なニーズに対応した保育事業の実施」においては、待機児童が発生している2歳児の保育需要に対応するため、2歳児を対象とした幼稚園型一時預かり事業を実施してたことにより、質の高い保育・幼児教育を適切に提供する体制を確保していることから、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。

容 根拠法令 条例 要綱等

3 実施計画

0.天旭日圖				
Plan【計画】	平成30年度(現況)		3か年計画	
	十成30千及(現流)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	国・都補助金を活用した支援事業の検討・実施	同左	同左	同左
		15園(認可保育園11園、認定	同左 17園(認可保育園12園、認 定こども園3園、認証保育 所2園)	
事業内容 事業量等				

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

	O THIS IS NOT THE SECOND THE SECO								
職層∙職種別		平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	哦/官 ⁻ 哦作生力!	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
	係長職	1人	136 H	1人	136 H	1人	136 H	1人	136 H
	主事•主任職	1人	136 H	1人	136 H	1人	136 H	1人	136 H

②事業費

	ナヘ只				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	事業費	6,921	12,915	14,637	
	人件費(係長職)	654	654	654	654
	人件費(主任・主事職)	430	430	430	430
総	事業費(合計)	8,005	13,999	15,721	1,084
	国庫支出金	829	6,396	7,380	
	都支出金	5,077	4,674	5,166	
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	2,099	2,929	3,175	1,084
財	源内訳(合計)	8,005	13,999	15,721	1,084

3□2	くト計	┣簠
·	VI H	ᅲ

ア	市民	55,565	人における1人あた	とりのコストは、	252	円
1	対象者		人における1人あた	こりのコストは、		円
	成果(物)		の出来高	こここ における1	のコストは	H

令和元年度 【事務事業評·	価(事後)】			進行管理No	5
Do【実行】					
5.実施結果					
計画どおり完了 計画を見	見直し完了(次年	度以降計画を見し	直す) 🔲遅延	一中断	
(1)指示事項·改善	<u> </u>	200	_	<u> </u>	
		指示事項・	改盖内容		
_無		カケナス	W - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		
②活動実績					
【保育所等における児童の安	全対策強化事	業】			
保育従事職員が行う午睡ヲ			- 等の設備や機	器の導入に要す	る費用の
一部を補助することで、午睡					
た。	「砂儿主の女」		. 日 此于柳英〇	ロイエリスリニックセ	.// % CEIJ
/- o					
【保育従事職員宿舎借り上げ	* 古怪車 坐 【				
保育従事職員のために宿舎		う車業者に対し	供け上げに要す	- ス弗田の一部を	に描いまる
ことで、保育人材の確保、離			旧り上げに安り	on compo	T LHI TAI A O
ことで、休月入州の唯体、施	00円で図った	0			
③投入実績					
決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正•流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	12,915		16,91		
	当初計画	実績	1		
年間業務時間(人件費の目安)	<u>ヨ粉計圏</u> 人数 概算時		<u></u>		
 係長職					
	1人 136		36 H		
主事·主任職	1 人 136	i H	<mark>36</mark> H		
④事業量(活動量)		. —			
実施計画			今:	年度実績	
		○伊書	さむなにかける	児童の安全対策	523211世来
○国・都補助金を活用した支	援事業の検			元量の女主対策 ③(認可保育園3園	
討・実施				別総り休月園の	引、心化し
		⇒ ども園			
○保育従事職員宿舎借り上	ず支援事業補 しゅうしゅう	0/03	·ᄽᆂᄥᄆᅌᇰ		- *** *
助金交付事業 15園(認可保				借り上げ支援事	
定こども園2園、認証保育所2				丁保育園8園、認	正しとも国
	,	1園、	認証保育所2園)	
Check【評価】					
	切なもの A…;	商切かもの	R…課題があり	、今後、改善が	必要なもの
項目	93.0.000 / /	<u> </u>			長評価
				<u>P</u>	
妥 必 ☑ 上位施策(基本目標・施율	E)を達成する為に必	多要な事業である			A
当 要	業である 利用	者・対象者のニーズ(語	需要)がある		Α
当要性 性ご <mark>での社会情勢に見合う事</mark>					/ \
II Comment				/	
対 □ 最少の人件費・事業費で	事務が執行されてい	る	民間活力を活用して	こいる	A
率 法 □業務の進め方や手続きを	・簡素化して	いる			Δ
性	.07活用			/	
有 ○ □計画の事業量に達しなかっ	った 計画の事	業量に達した	計画以上の事業量	を達成した	
効果 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	<u>=</u>	果が表れている			Λ
	_				\wedge
性 一 施策の基本方針推進する	うえで具体的な成果	見があった			
7.「施策の基本方針」に対す	る本事業の評価	6			
今年度実施した事業につい			、保育・幼児教	育の質の更なる	向上に有
効な事業であった。					
Action【改善】					
8.今後の方向性	u → . → □	٠,, 🗂 جـيد -	- #	7 4	
□ 現状のまま継続 □ レベ	ルアツノ 📙 🏔	雪小 □□実施∃	上14の見直し [<mark></mark> 休止·廃止	<mark> </mark> 元 ʃ
【改善点】					
【今後の取組方針】					
社会情勢や市民ニーズ等を	見定め 必要	生が高く かつ費!	用対効果が見る	まれる施策につ	ついては
国・都補助金の活用を図り積					
付事業については、国・都補				ロノー・ハス」及手	トロの北人

	令和元	年度	【基本	ジート 】						進行管理No	6
1.	基本項目	-	II			比部署			家庭 部		育て支援課
			事業名		開始	台年度	実施	期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	保育・幼	児教育(の提供体制の	確保•充実	₹ 不明	年	継	続	自治事務	直営	
	01					年					
	02					年					
	03					年					
	04					年					
Ш	05 関連課	ナナム ナ				年					
_			ভ℡誌 [を通じて学)	バ苔へ士	+ 佐与	 €区分	2	/	· 幼児教育	管理№	2
_	事業の概		Eで囲して子	い月フま		кьл		休月	- 列冗叙目	官连NU.	
				上たたが健	わかに成	長できる	.よう :4		加罗教育環境	の整備・支	淫に取り組
			、小学校への) 6) ()	本日 * 4	加致自绿坑	· 少走 佣 * 文 :	及に収り心
事	m = o		<i>小</i> ₩≡ = = 1	ウェビナ		————————————————————————————————————	击 ** + ·	・ レッドコ	= 一切の記	三口女ご!-	-+v >0
業内	既仔の1	未育図・ こ応じた	、幼稚園、認 -質の高い保	正ことも1	慰、豕廷 教育をiii	的保育: あ切に提	事業と 供する	る体制	₹京郁の認言 を確保しま ^っ	业保育所に す。	おいて、発
容	拠法令		・子育て支								
条		1 2 (及仏							
	綱等	57									
	実施計画							31	か年計画		
	Plan【計	画)	平成30年度			和元年月			和2年度	令和	13年度
			施設整備等に伴 大(0.1.2歳児9人		同左 (0,1,	2歳児6人均	曽)				
					待機児童の	の状況に応	じた提	同左		同左	
					供体制の研 実施			I-J Z		I-I-C	
				叶の伊本				=+		=+	
			妊娠届出書提出需要アンケート		同左			同左		同左	
	事業内	容	 認可保育園の指	貨 模査	認可保育園	園等の指導	検査 3	同左 3	袁	同左 3園	
	事業量	等	3園		袁						
			の達成、及び								
(1)			人件費の目	安) 平成30年			<u>する人</u> ロ元年		人当たりの 令和2年		時間】 ↑和3年度
	職	層•職科	重別	人数 概		人数		<u>反</u> 時間			概算時間
	長職			2 人	100 H	2 人		60 H		60 H 2 人	60 H
	事∙主任 事業費	職		2 人	60 H	2 人		60 H	2人	60 H 2 人	60 H
	サネ貝 業費のP	勺訳 ()	単位:千円)	平成30年	度(現況)	令和	1元年	度	令和2年	度 全	和3年度
Ħ	事業費					1- 1			17 18-1		1112
	人件費(962 379			577		577 379	577
 総	人件費(事業費(上争戦)		1,341			379 956		956	379 956
1,10.	国庫支出	出金			.,						
	都支出										
	受益者な		原								
	一般会	計繰入:									
	起債	压/ 1 14	- 弗		4 0 4 4			050		050	050
	<u>一般財液</u> 源内訳(:		-費含む)		1,341 1,341			956 956		956 956	956 956
	コスト計				•	1					
ア	市民		55,565 人(こおける1	人あたり	りのコス	トは、			17円	

 ア市民
 55,565
 人における1人あたりのコストは、
 17円

 イ対象者
 人における1人あたりのコストは、
 円

 ウ成果(物)
 の 出来高
 における1
 のコストは
 円

 ※対象者:

Do【実行】	西(事後)】			進行管理No	6
5.実施結果					
	直し完了(次年	度以隆計画を見	直す) 🔲遅延	中断	
	,E0)61 (9(1	Z>1-11 L C 201		<u> </u>	
①指示事項・改善		化二亩市	・改善内容		
無 有		11 17 争垻	"以普內谷		
②活動実績			// *****		74471
施設整備への財政支援を通	じ、認可保育園	国1園の足員につ	いて、保育需要の)高い低年齢児	記を中心に
増員した。					
保育需要を捉えるため、妊娠	辰届出書提出時	テに保育需要アン	[,] ケート調査を実施	した。	
東京都の指導検査(立会い	検査)を実施す	るとともに、市の	指導検査及び、認	可保育園等に	こ対する集
団指導を実施した。					
③投入実績					
		一块工 法田姑	マ佐姫/日仏\	1 25 空	1 ±4 <= ./. 1
決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	_	-	-	_	_
大 <u>即类效性即/工</u> 业 本 □ 土、	当初計画	実績			
年間業務時間(人件費の目安)	人数 概算時		時間		
係長職	2 人 120		20 H		
主事・主任職	2人 120		20 H		
	120	11 亿人	ZU П		
④事業量(活動量)		ı —	^ /-	在安 律	
実施計画			9年	度実績	
		O#=	投整備等に伴う定	日の世士 (0	1.2许旧6
〇施設整備等に伴う定員の拡	太大 (0,1,2歳	人増)		.良仍加入(0	,1,2 所以 グロゼ
児6人増)				· // * * * * * * * * * * * * * * * * * *	, , ==
〇待機児童の状況に応じた提	提供体制の確		仮届出書提出時の	り保育需要と	ノケート調
保方策の検討・実施	C D C L L I I I I I I I I I I I I I I I I I	→ 査 3			
〇妊娠届出書提出時の保育	重両マンケート		可保育園等の指導	算検査	
	而女 ノンフート	・ 東京	[都が実施の指導	検査(合同検	査) 1園
調査	0.00	· 市が	実施の指導検査	2園	
○認可保育園等の指導検査	3国		実施の認可保育		指導 1回
		1,100	>		.,, .,
		-			
Check【評価】					
	刃なもの A…i	適切なもの	B…課題があり、	今後、改善が	必要なもの
	<u> </u>	適切なもの	B…課題があり、		必要なもの 果長評価
6.事業の評価 S…より適り			B…課題があり、		
6.事業の評価 S…より適 項目 妥 _必 ✓ 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必	要な事業である			
6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 ✓ 上位施策(基本目標・施策 当 要 ✓ 今の社会情勢に見合う事業)を達成する為に必	要な事業である			
6.事業の評価 S…より適け 項目 妥 _必)を達成する為に必	要な事業である			
6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 ✓ 上位施策(基本目標・施策 ✓ 今の社会情勢に見合う事業 性 ──その他 ()を達成する為に必	要な事業である 者・対象者のニーズ(ギ	需要)がある)	
6.事業の評価 S…より適何 項目 妥 必 ✓ 上位施策(基本目標・施策	:)を達成する為に必 業である ▽利用:	要な事業である者・対象者のニーズ(ギ)	
6.事業の評価 S…より適け 項目 妥 ѝ ✓ 上位施策(基本目標・施策 当 要 ✓ 今の社会情勢に見合う事業 性	i)を達成する為に必 業である √利用: 事務が執行されてい	要な事業である 者・対象者のニーズ(記	需要)がある)	
6.事業の評価 S…より適何 項目	i)を達成する為に必 業である √利用: 事務が執行されてい	要な事業である 者・対象者のニーズ(記	需要)がある)	
6.事業の評価 S…より適け 項目 妥 ѝ ✓ 上位施策(基本目標・施策 当 要 ✓ 今の社会情勢に見合う事業 性	i)を達成する為に必 業である √利用: 事務が執行されてい	要な事業である 者・対象者のニーズ(記	需要)がある)	
6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必)を達成する為に必 業である √利用: 事務が執行されてい。 「略化・簡素化してし	要な事業である 者・対象者のニーズ(含	需要)がある 民間活力を活用してし) Na	
6.事業の評価 S…より適け 項目)を達成する為に必 業である ▽利用 事務が執行されてい 事略化・簡素化してし た □計画の事業	要な事業である 者・対象者のニーズ(乳 る	需要)がある) Na	
6.事業の評価 S…より適け 項目)を達成する為に必 業である ▽利用 事務が執行されてい 事略化・簡素化してし た □計画の事業	要な事業である 者・対象者のニーズ(含	需要)がある 民間活力を活用してし) Na	
6.事業の評価 S…より適何 項目)を達成する為に必 業である ✓利用 事務が執行されてい い い い い に い い い い い い い い い い い い い い	要な事業である 者・対象者のニーズ(名 る いる	需要)がある 民間活力を活用してし) Na	
6.事業の評価 S…より適何 項目	※)を達成する為に必 業である ✓利用 事務が執行されてい 所略化・簡素化してい た □計画の事業 ✓事業の効果 うえで具体的な成果	要な事業である 者・対象者のニーズ(名 る いる 美量に達した 見が表れている があった	需要)がある 民間活力を活用してし) Na	
6.事業の評価 S…より適何 項目	※である ▽利用 ※である ▽利用 ※務が執行されている。 ※略化・簡素化している。 では、一計画の事業 ▽事業の効果 のえで具体的な成果 る本事業の評価	要な事業である 者・対象者のニーズ(名 る いる	需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を) 	A A A
6.事業の評価 S…より適何 項目	※である ▽利用 ※である ▽利用 ※下ある ▽利用 ※務が執行されている がいいである。 ・簡素化している。 ・一計画の事業 ・フ事業の効果 のえで具体的な成果 のな果 の、保育需要が、	要な事業である 者・対象者のニーズ(る いる	需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を	。 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	R長評価 A A ができた。
6.事業の評価 S…より適何 可目	きを達成する為に必 業である ▽利用 事務が執行されてい 事略化・簡素化してい でしてい でしてい でしま ・	要な事業である 者・対象者のニーズ(る いる	需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を で中心とした定員打の合同検査に加え	は大を図ること、市単独で指	展長評価 A A ができた。 導検査を
6.事業の評価 S…より適何 項目 マルマー マーマー マーマー マーマー マーマー マーマー マーマー マーマ	き達成する為に必 である ▽利用 事務が執行されてい 事略化・簡素化してい 事業の効果 うえで具体的な成果 うえで具体的な成果 もり、保都需要が 東京が実施 善報告書を提出	要な事業である 者・対象者のニーズ(る いる	需要)がある 民間活力を活用しています。 計画以上の事業量を で中心とした定員打 の合同検査に加えた。市単独での打	は大を図ることに、市単独で指	展長評価 A A ができた。 できた。 できなる、市
6.事業の評価 S…より適何 項目 妥	き達成する為に必 である ▽利用 事務が執行されてい 事略化・簡素化してい 事業の効果 うえで具体的な成果 うえで具体的な成果 もり、保都需要が 東京が実施 善報告書を提出	要な事業である 者・対象者のニーズ(る いる	需要)がある 民間活力を活用しています。 計画以上の事業量を で中心とした定員打 の合同検査に加えた。市単独での打	は大を図ることに、市単独で指	展長評価 A A ができた。 できた。 できなる、市
6.事業の評価 S…より適何 項目 図 以上位施策(基本目標・施策 図 字の社会情勢に見合う事業 性 図 子の他 (図 最少の人件費・事業費で要素	き達成する為に必 である ▽利用 事務が執行されてい 事略化・簡素化してい 事業の効果 うえで具体的な成果 うえで具体的な成果 もり、保都需要が 東京が実施 善報告書を提出	要な事業である 者・対象者のニーズ(る いる	需要)がある 民間活力を活用しています。 計画以上の事業量を で中心とした定員打 の合同検査に加えた。市単独での打	は大を図ることに、市単独で指	展長評価 A A ができた。 できた。 できなる、市
6.事業の評価 S…より適何 項目 図 以上位施策(基本目標・施策 図 字の社会情勢に見合う事態性 図 字の社会情勢に見合う事態性 図 表の他 (図 景	を達成する為に必 業である	要な事業である 者・対象者のニーズ(音 る は る は さ は き 量に達した に があった に があった で する指 は き せ さ せ な は さ せ な は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は	需要)がある 民間活力を活用してに 計画以上の事業量を でのとした定員が から、市単独での対 は象外となっている	は大を図ること は大・市単独で指 は認定こども園	展長評価
6.事業の評価 S…より適何 項目 図 以上位施策(基本目標・施策 図 字の社会情勢に見合う事業 性 図 子の他 (図 最少の人件費・事業費で要素	を達成する為に必 業である	要な事業である 者・対象者のニーズ(音 る は る は さ は き 量に達した に があった に があった で する指 は き せ さ せ な は さ せ な は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は	需要)がある 民間活力を活用してに 計画以上の事業量を でのとした定員が から、市単独での対 は象外となっている	は大を図ること は大・市単独で指 は認定こども園	展長評価
6.事業の評価 S…より適何 項目 図 以上位施策(基本目標・施策 図 字の社会情勢に見合う事態 図 字の社会情勢に見合う事態 図 字の他 (図 最少の人件費・事業費で調業務の進め方や手続きを簡単	を達成する為に必 業である	要な事業である 者・対象者のニーズ(音 る は る は さ は き 量に達した に があった に があった で する指 は き せ さ せ な は さ せ な は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は	需要)がある 民間活力を活用してに 計画以上の事業量を でのとした定員が から、市単独での対 は象外となっている	は大を図ること は大・市単独で指 は認定こども園	展長評価
6.事業の評価 S…より適何 項目 ② 上位施策(基本目標・施策 ② 今の社会情勢に見合う事態 ② 今の社会情勢に見合う事態 ② 今の社会情勢に見合う事態 ② 今の社会情勢に見合う事態 ② 参の他 ② 最少の人件費・事業費で調 ※務の進め方や手続きを簡単 ② 事業の目標が達成された ② 事業の目標が達成された ② 事業の基本方針指進する 7.「施策の基本方針」に対する 施設整備への財政支援によまた、指摘事項については、実施し、指摘事項については、実施し、指摘事準を整備。の指導検査とができた。 以上の取組みにより質の高	を達成する為に必 業である	要な事業である 者・対象者のニーズ(音 る は る は さ は き 量に達した に があった に があった で する指 は き せ さ せ な は さ せ な は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は	需要)がある 民間活力を活用してに 計画以上の事業量を でのとした定員が から、市単独での対 は象外となっている	は大を図ること は大・市単独で指 は認定こども園	展長評価
6.事業の評価 S…より適何	を達成する為に必 業である	要な事業である 者・対象者のニーズ(音 る は る は さ は き 量に達した に があった に があった で する指 は き せ さ せ な は さ せ な は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は さ は	需要)がある 民間活力を活用してに 計画以上の事業量を でのとした定員が から、市単独での対 は象外となっている	は大を図ること は大・市単独で指 は認定こども園	展長評価
6.事業の評価 S…より適何 可目	き達成する為に必 業である √利用 事務が執行されている。 事業の効果 の表で具体的な成果 の本事業の評価。 り、京番書を現まがまました。 り、京番書を提出 もり、京番書を提出 い保育・幼児教	要な事業である 者・対象者のニーズ(名 る 、いる に達した とがあった である にの指導検査図った はついる にの指導検査の方 にでするがして提供	需要)がある 民間活力を活用しています。 計画以上の事業量を から同様強独での対 は象外となっている。 する体制を確保する	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	展長評価
6.事業の評価 S…より適何 可目	き達成する為に必 業である √利用 事務が執行されてい 事業の効果 うえで具体的な成果 うえで具体的な成果 る本事業の評価 り、京番書を提出 り、京番書を提出 い保育・幼児教	要な事業である 者・対象者のニーズ(名 る 、いる に達した とがあった である にの指導検査図った はついる にの指導検査の方 にでするがして提供	需要)がある 民間活力を活用しています。 計画以上の事業量を から同様強独での対 は象外となっている。 する体制を確保する	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	展長評価
6.事業の評価 S…より適何	き達成する為に必 業である √利用 事務が執行されてい 事業の効果 うえで具体的な成果 うえで具体的な成果 る本事業の評価 り、京番書を提出 り、京番書を提出 い保育・幼児教	要な事業である 者・対象者のニーズ(名 る 、いる に達した とがあった である にの指導検査図った はついる にの指導検査の方 にでするがして提供	需要)がある 民間活力を活用してに 計画以上の事業量を でのとした定員が から、市単独での対 は象外となっている	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	展長評価
6.事業の評価 S…より適何 項目 ② 上位施策(基本目標・施策 ② 今の社会情勢に見合う事態 ② 今の社会情勢に見合う事態 ② 今の社会情勢に見合う事態 ② 参加 ② 最少の人件費・事業費で調 ※ 務の進め方や手続きを簡単 ② 事業の目標が達成された ② 事業の目標が達成された ② 事業の基本方針 ※ 下施策の基本方針 ※ 下施策の基本方針 ※ 下施設整備への財政支援によまた、指導検査については、実施し、指摘事項については、実施し、指摘事準を整備したことができた。 ③ 以上の取組みにより質の高 Action (改善) 8.今後の方向性 ② 上位施策(基本目標・施策 ※ ※ ※	き達成する為に必 業である √利用 事務が執行されてい 事業の効果 うえで具体的な成果 うえで具体的な成果 る本事業の評価 り、京番書を提出 り、京番書を提出 い保育・幼児教	要な事業である 者・対象者のニーズ(名 る 、いる に達した とがあった である にの指導検査図った にの指導検査の方 に可して にいる にがあった にである にはずして にいる	需要)がある 民間活力を活用しています。 計画以上の事業量を から同様強独での対 は象外となっている。 する体制を確保する	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	展長評価
6.事業の評価 S…より適何 項目 図 以上位施策(基本目標・施策 図 字の社会情勢に見合う事業 性 図 字の社会情勢に見合う事業 性 図 景のの人件費・事業費で調整	き達成する為に必 業である √利用 事務が執行されてい 事業の効果 うえで具体的な成果 うえで具体的な成果 る本事業の評価 り、京番書を提出 り、京番書を提出 い保育・幼児教	要な事業である 者・対象者のニーズ(名 る 、いる に達した とがあった である にの指導検査図った にの指導検査の方 に可して にいる にがあった にである にはずして にいる	需要)がある 民間活力を活用しています。 計画以上の事業量を から同様強独での対 は象外となっている。 する体制を確保する	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	展長評価
6.事業の評価 S…より適何 項目 マントロ (基本目標・施策 タックの社会情勢に見合う事等性 マクの社会情勢に見合う事等性 マクの社会情勢に見合う事等性 マクの社会情勢に見合う事等性 マクの他 (カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	き達成する為に必 業である √利用 事務が執行されてい 事業の効果 うえで具体的な成果 うえで具体的な成果 る本事業の評価 り、京番書を提出 り、京番書を提出 い保育・幼児教	要な事業である 者・対象者のニーズ(名 る 、いる に達した とがあった である にの指導検査図った にの指導検査の方 に可して にいる にがあった にである にはずして にいる	需要)がある 民間活力を活用しています。 計画以上の事業量を から同様強独での対 は象外となっている。 する体制を確保する	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	展長評価
6.事業の評価 S…より適何	でまする為に必 である ▽利用 事務が執行されてい 事略化・簡素化してい 事事の効果 で具体の評価 が、京告のでのでである。 の事等のが、でのでである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 では、京告のでである。 は、京告とにより、京告とにより、 をとにより、京告といくにより、 は、京告により、 ののでである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 のの対象でである。 ののが、できました。 ののが、できました。 ののは、できまで、のできまで、 ののが、のできまで、 ののが、できまで、 ののが、できまで、 ののできをできで、 ののできで、 ののできで、 ののできで、 ののできで、 ののできで、 ののできで、 ののでで、 ののでできで、 ののででで、 ののででで、 ののででで、 ののででで、 ののででででで、 ののでででででででででで	要な事業である者・対象者のニーズ(著名のようなという。 は、	需要)がある 民間活力を活用しています。 計画以上の事業量を の合う市単独での打象外となっている する体制を確保する体制を確保する	は、大を図るできれてきます。	展長評価

的に夫他し、休月の貝の稚

令和元年度 【基本シート】		- 181 1-	進行管理No 7
1.基本項目	作成部署	子ども家庭 部	子育て支援課
事業名	開始年度	実施期間 事業種別	運営手法 プロジェクト
00 多様なニーズに対応した保育事業の実施	年		
01 2時間延長保育	不明 年	継続 自治事務	施行者への 補助・助成
02 一時預かり事業	不明 年	継続 自治事務	施行者への 補助・助成
03 定期利用保育	不明 年	継続 自治事務	施行者への 補助・助成
04 休日保育	不明 年	継続 自治事務	施行者への 補助・助成
満2歳児を対象とした幼稚園型一時預 かり事業	平成 31 年	継続自治事務	施行者への 補助・助成
関連課			
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち	施策区分	2 保育•幼児教育	管理No. 3

2.事業の概要

施策の 乳幼児期にある子どもたちが健やかに成長できるよう、保育・幼児教育環境の整備・支援に取り組 基本方針むとともに、小学校への円滑な就学を支援します。 事 業 内 内

容 根拠法令 条例

要綱等

3.美施計画				
Plan【計画】	平成30年度(現況)	令和元年度	3か年計画 令和2年度	令和3年度
	2時間延長保育事業 3園	同左 3園	同左 3園	同左 3園
	一時預かり事業 8園	同左 8園	同左 8園	同左 8園
	定期利用保育事業 7園	同左 7園	同左 7園	同左 7園
	休日保育事業 1園	同左 1園	同左 1園	同左 1園
事業内容 事業量等		満2歳児を対象とした幼稚園 型一時預かり事業 1園	同左 1園	同左 1園
	ニーズ調査の実施	子ども・子育て支援事業計画 の改訂		
1		1		

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

① 年間業務時間(人件費の日安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

	<u> </u>	又/		们に安する人数と「人当たりの千间未物時间」					
一种 网络加		平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	職層•職種別		概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
	係長職	2 人	1,996 H	2 人	1,996 H	2 人	1,996 H	2 人	1,996 H
主事·主任職		2 人	240 H	2 人	240 H	2 人	240 H	2 人	240 H

の車業期

② 争 来 貧				
事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	42,261	46,691	45,047	45,047
人件費(係長職)	19,186	19,186	19,186	19,186
人件費(主任・主事職)	1,515	1,515	1,515	1,515
総事業費(合計)	62,962	67,392	65,748	65,748
国庫支出金	5,664	7,360	7,360	7,360
都支出金	12,768	15,994	15,994	15,994
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	44,530	44,038	42,394	42,394
財源内訳(合計)	62,962	67,392	65,748	65,748

ァ 市民	55,565	人における1	人あたりの=	ストは、	1,213	円
イ 対象者		人における1	人あたりの=	ストは、		円
ゥ 成果(物)		の 出来高[における1	のコストは	P

※ 対象者:

令和元年度 【事務事業評	四(争伐)】		進行管理No	1
Do【実行】				
5.実施結果				
計画どおり完了 計画を	見直し完了(次年度以降計画を見	直す) 🔲遅延	中断	
①指示事項•改善				
	指示事項	•改善内容		1
無有	111.000	-X-017-0		
②活動実績				
2歳児を対象とした幼稚園型	型一時預かり事業を実施し、待機	と 見童が発生して	いる2歳児の保	音需要に
対応を図るとともに、子ども・	子育て会議を6回及び、子ども・・	子育て支援事業	計画検討委員会	会を5回開
催し 計画改訂内容、利用者				
	業計画を策定し、令和2年3月に	発行をした。		
③投入実績				
決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初) 補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	46,691 4,167	50,85		65.0%
	, , ,	00,00	00,001	00.0%
年間業務時間(人件費の目安)	当初計画 実績	n+ 88		
	人剱	時間		
係長職		196 H		
主事・主任職	2 人 480 H 1 人 2	2 <mark>40</mark> H		
④事業量(活動量)				
実施計画		今年	年度実績	
	0.00	明な長四女事	# o=	
〇2時間延長保育事業 3園		けるかい 東番・		
〇一時預かり事業 8園		時預かり事業 8		
〇定期利用保育事業 7園		期利用保育事業		
〇休日保育事業 1園		日保育事業 1億		∓ / + . \\
〇満2歳児を対象とした幼稚		見を対象とした	切 稚園型一時於	貝かり争業
り事業 1園	1園		:	
〇子ども・子育て支援事業計	画の改訂 〇子	ども・子育て支援	第三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	[]
			ず未可固の以口	''
			サネ 川 四 の 以 に	••
Check(証価)			(事業計画の政)	.,
Check(評価) 6 事業の評価 S…より流				
6.事業の評価 S…より適	切なもの A…適切なもの	B…課題があり	、今後、改善が	必要なもの
6.事業の評価 S…より適 項目	切なもの A…適切なもの		、今後、改善が	
6.事業の評価 S…より適項目 S…より適 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	切なもの A…適切なもの	B…課題があり	、今後、改善が	必要なもの
6.事業の評価 S…より適 項目 妥 ω <mark>✓上位施策(基本目標・施設</mark> 当要 <mark>→の社会情勢に見合う事</mark>	切なもの A…適切なもの	B…課題があり	、今後、改善が	必要なもの
6.事業の評価 S…より適 項目 妥 ω <mark>✓上位施策(基本目標・施設</mark> 当要 <mark>→の社会情勢に見合う事</mark>	切なもの A…適切なもの	B…課題があり	、今後、改善が	必要なもの
6.事業の評価 S…より適項目 妥 必	切なもの A…適切なもの (E)を達成する為に必要な事業である 業である ✓ 利用者・対象者のニーズ(B… 課題があり 需要)がある	、今後、改善が	必要なもの
6.事業の評価 S…より適項目 妥 ω □ 上位施策(基本目標・施設・当要性 □ その他 (対 □ □ □ □ □ → の → ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	切なもの A…適切なもの	B…課題があり	、今後、改善が	必要なもの果長評価
6.事業の評価 S…より適項目 妥 ω □ 上位施策(基本目標・施設・当要性 □ その他 (対 □ □ □ □ □ → の → ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	切なもの A…適切なもの	B… 課題があり 需要)がある	、今後、改善が	必要なもの果長評価
6.事業の評価 S…より適項目 妥 必	切なもの A…適切なもの	B… 課題があり 需要)がある	、今後、改善が	必要なもの
6.事業の評価 S…より適項目 妥 必	切なもの A…適切なもの (E)を達成する為に必要な事業である 業である ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 「	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して	、今後、改善が : : : : : : : : : : : : :	必要なもの果長評価
6.事業の評価 S…より適項目 妥必 当性 一子の他 (効 手法 性 ○ 一業務の進め方や手続きを しての他 (有 ○ 計画の事業量に達しなか・	切なもの A…適切なもの (E)を達成する為に必要な事業である 業である ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 「	B… 課題があり 需要)がある	、今後、改善が : : : : : : : : : : : : :	必要なもの果長評価
6.事業の評価 S…より適項目 妥必 当性 一子の他 (効 手法 性 ○ 一業務の進め方や手続きを しての他 (有 ○ 計画の事業量に達しなか・	切なもの A…適切なもの (E)を達成する為に必要な事業である 業である ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 「	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して	、今後、改善が : : : : : : : : : : : : :	必要なもの果長評価
6.事業の評価 S…より適項目 妥必当性 ○ 今の社会情勢に見合う事 ○ その他 (効 手法 ○ 一業務の進め方や手続きを ○ 業務の進め方や手続きを ○ での他 (有 成 ○ 計画の事業量に達しなか・ ○ 小事業の目標が達成された	切なもの A…適切なもの (E)を達成する為に必要な事業である 業である	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して	、今後、改善が : : : : : : : : : : : : :	必要なもの果長評価
6.事業の評価 S…より適項目 妥必当性 ○ →の社会情勢に見合う事 ○ その他 (切なもの A…適切なもの (E)を達成する為に必要な事業である 業である ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 「商略化・簡素化している 「ク計画の事業量に達した 「事業の効果が表れている 「うえで具体的な成果があった	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して	、今後、改善が : : : : : : : : : : : : :	必要なもの果長評価
6.事業の評価 S…より適項目	切なもの A…適切なもの (i)を達成する為に必要な事業である 業である ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 高略化・簡素化している (i) 計画の事業量に達した □事業の効果が表れている (i) うえで具体的な成果があった る本事業の評価	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して	、今後、改善が じいる と達成した	必要なもの 果長評価 A A
6.事業の評価 S…より適項目	切なもの A…適切なもの (E)を達成する為に必要な事業である 業である	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量	、今後、改善が じいる を達成した	必要なもの 果長評価 A A 各種保育
6.事業の評価 S…より適項目 ②上位施策(基本目標・施設当性) ○今の社会情勢に見合う事性 ○その他 (②最少の人件費・事業費で ○業務の進め方や手続きを ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	切なもの A…適切なもの (できをである ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている のた ✓計画の事業量に達した 「事業の効果が表れている のうえで具体的な成果があった る本事業の評価 よる供給体制は整っているが、する	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 を行うなど、必要	、今後、改善が じいる を達成した	必要なもの 果長評価 A A 各種保育
6.事業の評価 S…より適項目 ②上位施策(基本目標・施設当性) ○今の社会情勢に見合う事性 ○その他 (②最少の人件費・事業費で ○業務の進め方や手続きを ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	切なもの A…適切なもの (E)を達成する為に必要な事業である 業である	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 を行うなど、必要	、今後、改善が じいる を達成した	必要なもの 果長評価 A A 各種保育
6.事業の評価 S…より適項目 ②上位施策(基本目標・施設当性) ○今の社会情勢に見合う事性 ○その他 (②最少の人件費・事業費で ○業務の進め方や手続きを ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	切なもの A…適切なもの (できをである ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている のた ✓計画の事業量に達した 「事業の効果が表れている のうえで具体的な成果があった る本事業の評価 よる供給体制は整っているが、する	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 を行うなど、必要	、今後、改善が じいる を達成した	必要なもの 果長評価 A A 各種保育
6.事業の評価 S…より適項目 妥 必要性	切なもの A…適切なもの (できをである ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている のた ✓計画の事業量に達した 「事業の効果が表れている のうえで具体的な成果があった る本事業の評価 よる供給体制は整っているが、する	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 を行うなど、必要	、今後、改善が じいる を達成した	必要なもの 果長評価 A A 各種保育
6.事業の評価 S…より適項目 図	切なもの A…適切なもの (できをである ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 高略化・簡素化している でしている では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 で内の認可保育した行うなど、必要	、今後、改善が、計画では、	必要なもの 果長評価 A A 各種保育 Pare を見直
6.事業の評価 S…より適項目 図	切なもの A…適切なもの (できをである ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 高略化・簡素化している でしている では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 で内の認可保育した行うなど、必要	、今後、改善が、計画では、	必要なもの 果長評価 A A 各種保育 Pare を見直
6.事業の評価 S…より適項目 ジート は では できます できます できます できます できます できます できます できます	切なもの A…適切なもの (できをである ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 高略化・簡素化している でしている では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 を行うなど、必要	、今後、改善が、計画では、	必要なもの 果長評価 A A 各種保育 Pareを見直
6.事業の評価 S…より適項目 図	切なもの A…適切なもの (できをである ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 高略化・簡素化している でしている では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 で内の認可保育した行うなど、必要	、今後、改善が、計画では、	必要なもの 果長評価 A A 各種保育 Pareを見直
6.事業の評価 S…より適項目 ジート は では できます できます できます できます できます できます できます できます	切なもの A…適切なもの (できをである ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 高略化・簡素化している でしている では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 で内の認可保育した行うなど、必要	、今後、改善が、計画では、	必要なもの 果長評価 A A 各種保育 Pareを見直
6.事業の評価 S…より適項目 ②上位施策(基本目標・施設 → 今の社会情勢に見合う事 → その他 (②最少の人件費・事業費で → 業務の進め方や手続きを → 業の単一 では、定期時点では保育需要に対す 事業については、定期利用ですことで、多様なニーズに対する。今後の方向性 → 現時点では保育 ・ 表に対しません。 「、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	切なもの A…適切なもの (できをである ✓利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 高略化・簡素化している でしている では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 で内の認可保育した行うなど、必要	、今後、改善が、計画では、	必要なもの 果長評価 A A 各種保育 Pareを見直
6.事業の評価 S…より適項目 S…より適項目 S…より適項目 S…より適分の社会情勢に見合う事性 ○ 今の社会情勢に見合う事 ○ その他 (図最少の人件費・事業費で ○ 業務の進め方や手続きを ○ 業の世 ○ 計画の事業量に達しなか ○ 事業の目標が達成された ○ 計画の事業量に達しなか ○ がままる。 では、東東の目標が達成された ○ 1. 施策の基本方針1に対する。 ままについては、定期利用はすことで、多様なニーズに対する。 ままについては、定期利用はすことで、多様なニーズに対しては、定期利用はすことで、多様なニーズに対しては、のまま継続 ○ でありままといる。 「会後の方向性 ○ では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「	切なもの A…適切なもの (できている) を達成する為に必要な事業である 業である ②利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている のた ②計画の事業量に達した □事業の効果が表れている の方えで具体的な成果があった る本事業の評価 「る供給体制は整っているが、市民育の利用時間の上限引き上げなした保育事業の提供に努めて ルアップ □縮小 □実施	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 で内の認可保育を を行うなど、必要 いる。	、今後、改善が ままない ままない ままない ままない ままない ままない ままない ままな	必要なもの 果長評価 A A 各種保育 Pare を見直
6.事業の評価 S…より適項目 S…より適項目 S…より適項目 S…より適同日 S…より適同日 S…より適同日 S…より適同日 S…より S…より S…より S…より S…より S…より S…より S…より	切なもの A…適切なもの (i)を達成する為に必要な事業である 業である ②利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 「事務が執行されている 「事業の効果が表れている」 「事業の効果が表れている」 「うえで具体的な成果があった る本事業の評価 「る供給体制は整っているが、対象育の利用時間の上限引き上げでした保育事業の提供に努めて ルアップ 「「解小」」実施	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 で内の認可保育 を行うなど、必要 いる。 主体の見直し を計画的に推え	、今後、改善が 部で 実施する 記に応じて 事業 が	必要なもの 限長評価 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
6.事業の評価 S…より適項目 ②上位施策(基本目標・施設 当性) ②上位施策(基本目標・施設 当性) ②最少の人件費・事業費で その他 (②最少の人件費・事業費で その他 (」計画の事業量に達しなか が 要素の目標が達成された □ が でいては、定期利用ですことで、多様なニーズに対 事業については、定期利用ですことで、多様なニーズに対 りままた、令後の方向性 □ 現状のまま継続 □ レベ 【今後の取組方針】 第2期子ども・子育て支援事また、令和元年10月から実	切なもの A…適切なもの (できずである マースである)を達成する為に必要な事業である 業である マースでの 要務が執行されている では できません はいません はいません はいません はいません できません できま いっぱい はいましん できま いっぱい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 内の認可保育 を行うなど、必要 主体の見直し を計画的に推え 賞化について、身	、今後、改善が にいる 記等で実施する。 に応じて事業が は上・廃止	必要なもの 限長評価
6.事業の評価 S…より適項目 ②上位施策(基本目標・施設 当性) ②上位施策(基本目標・施設 当性) ②最少の人件費・事業費で その他 (②最少の人件費・事業費で その他 (」計画の事業量に達しなか が 要素の目標が達成された □ が でいては、定期利用ですことで、多様なニーズに対 事業については、定期利用ですことで、多様なニーズに対 りままた、令後の方向性 □ 現状のまま継続 □ レベ 【今後の取組方針】 第2期子ども・子育て支援事また、令和元年10月から実	切なもの A…適切なもの (i)を達成する為に必要な事業である 業である ②利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 「事務が執行されている 「事業の効果が表れている」 「事業の効果が表れている」 「うえで具体的な成果があった る本事業の評価 「る供給体制は整っているが、対象育の利用時間の上限引き上げでした保育事業の提供に努めて ルアップ 「「解小」」実施	B…課題があり 需要)がある 民間活力を活用して 計画以上の事業量 内の認可保育 を行うなど、必要 主体の見直し を計画的に推え 賞化について、身	、今後、改善が にいる 記等で実施する。 に応じて事業が は上・廃止	必要なもの 限長評価

	4	令和元	年度	【基本シート】						進行管理No	8
1.	基	本項目			作成	部	暑	子ども	家庭 部	子育	育て相談課
			事業名		開始	1年[隻	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	発容	達支援 [·] を掲載	体制の充実 (施策3、8、1	※施策1に事業内 1と重複)	平成	29	年	長期総合計画終了迄	自治事務(市独自)	直営	0
	01	幼稚園	・保育園への	の定期巡回相談	平成	29	年	長期総合計画終了迄	自治事務(市独自)	直営	
	02	担当者	連絡会		平成	29	年	長期総合計画終了迄	自治事務(市独自)	直営	
	03	啓発事	業		平成	29	年	長期総合計画終了迄	自治事務(市独自)	直営	
	04	ちょこっ	oと広場		平成	30	年	長期総合計画終了迄	自治事務(市独自)	直営	
	05						年				
	関	連課	子育て支持	爰課、障害福祉課、	健康認	果、亨	쇧校	教育課、教育	育支援課、	教育相談室	

2.事業の概要

施策のすべての子どもが良質な成育環境のもとで、健やかに育つことができるよう支援を行います。また、市 基本方針民、関係機関、事業者などと連携して、地域全体で子育て家庭を支援する環境を整備します。

管理No.

4

基本目標1 生涯を通じて学び育つまち 施策区分 2 保育・幼児教育

業乳幼児期から成人期までの切れ目のない発達支援を行うため、保健・医療・福祉・教育などの各分 内 野が連携し、組織横断的な体制の充実を図ります。

容 根拠法令 児童福祉法 条例

要綱等

3字体計画

3.美旭計画			-,		
Plan【計画】	平成30年度(現況)		3か年計画		
	十灰30十度(玩儿)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	発達支援体制の充実 臨床心理士 2名 言語聴覚士 1名	同左 臨床心理士 2名 言語聴覚士 1名	同左	同左	
	幼稚園・保育園への定期巡 回相談 各園2回	同左 各園2回	同左 各園2回	同左 各園2回	
	子どもの発達に関する総合 相談	同左	同左	同左	
事業内容 事業量等	ちょこっと広場での専門相 談 20回	同左	同左	同左	
		学童クラブ支援員へのサ ポート事業の実施	同左	同左	
	発達障害に関する啓発講 演会	同左	同左	同左	
	発達支援体制の検討会 4回	同左	同左	同左	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】) ①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

①十间木奶时间(八门夏00百叉) 【手奶粉(门)C叉 Y ①八数C · 八二/C / 00 十间木切时间】									
職層∙職種別		平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
柳眉	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	
係長職	1人	1,620 H	1人	1,620 H	1人	1,620 H	1人	1,620 H	
主事·主任職	人	Н	人	Н	人	Н	人	Н	

② 重 業 費

(2	净美賀				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	事業費	6,080	6,111	6,111	6,111
	人件費(係長職)	7,786	7,786	7,786	7,786
	人件費(主任・主事職)				
総	事業費(合計)	13,866	13,897	13,897	13,897
	国庫支出金	1,644	1,644	1,644	1,644
	都支出金	822	822	822	822
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	11,400	11,431	11,431	11,431
財	源内訳(合計)	13,866	13,897	13,897	13,897

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 イ 対象者 8,583人における1人あたりのコストは、 ウ 成果(物) ヿにおける1゚ の 出来高

250 円 1,619 円 のコストは

円

※ 対象者:

	【事務事業評価	西(事後)】				進行管理No	8
Do【実行】	l						
5. 実施結果 <mark>コ</mark> 計画じない字	ア 計画を見	直 空マ(次年	帝い 修計値	あた目古る	-)	中断	
2]計画とあり元 ①指示事項・改		,但し元」、次平	及以阵司	四で兄担9	/	一一中國	
			指:	示事項•改	善 内容		
無 有			10.	777 W	B1.10		
2活動実績	ル女国生。の	川口也まれたが	フじナの	않`去!-믬-	ᆂᅩᄽᄼᆇᆉᄆᄥ	業務の実施をし	ナーバン
						全童クラブ支援員	
	とくべい、続子に要に応じた巡回						
羽村市発達式	支援体制を検討	するPTの検討	会議および	が課題別の			
発達障害に関	関する啓発事業	として、9月に講	講演会を実	施した。			
↑+1. 1 ch/±							
③投入実績 央算の内訳(<u>〕</u>	 単位・エロ)	予算額(当初)	補正・流	田姑 二	予算額(最終)		執行率
事業費	<u> </u>	6.111		开锁	<u>) </u>		85.8
于木具				中生		0,240	00.0
∓間業務時間 ((人件費の目安)	当初計画 人数 概算時	間 人数	実績 概算時			
系長職		1 人 1,620					
E事·主任職		人 1,020	H 1人				
)事業量(活動							
	実施計画				今年	年度実績	
					援体制の充		
						言語聴覚士1名	
)発達支援体行	制の充実				《件数129件》	"□+□="○□+	
	2名 言語聴覚	士1名				巡回相談の実施フォロー 計84回	1 = 1 88 /
)幼稚園·保育	育園等巡回相談	の実施			1対象 定期・20と広場22回		16月101/
	_	各園2回	⇒			炎事業の実施:こ	ニス・ニレ
うちょこっと広り		-		ばの相談		火事未以天心. 5	
	を援員サポート				ラブ支援員サ	ナポート事業	
J発達文振体で D啓発事業	制の検討会4回				5回 勉強会		
ノ合光争未					を援体制の検		
						8者会議8回)	
				○啓発事		<i>II</i>	
				(舑洪	会1回・リーフレ	ツトTF AXTU)	
			1				
heck【評価】							
.事業の評価	S···より適t	刃なもの A…i	適切なもの	В.	課題があり	、今後、改善が	
目						課	長評価
e ́ <mark>☑上位施</mark>	策(基本目標・施策)を達成する為に必	要な事業であ	i3			_
4 要 □ 今の社会	会情勢に見合う事業	きである 利用	者・対象者の	ニーズ(需要)がある		Δ
性□その他	(
		- 76-17-17- 1- 1				7	
め ↑ ☑ 最少の Д	人件費・事業費で事			□ 氏 □	間活力を活用して	. (°a	٨
	進め方や手続きを簡	略化・簡素化してし	いる				Α
	()	
○計画の事	事業量に達しなかった	た ✓計画の事業	業量に達した	計画	国以上の事業量	を達成した	
成	目標が達成された		果が表れている				Δ
	基本方針推進する						\Box
	「方針」に対する それが良質な生活			一音つこと	を日煙に フレ	とつひとつの事	業の充実
が図れた。	. ひが以具は工	- ****** OC C	· ME (F/J) I	- 17 7 2	と口がに、い	こういこうの事	ネジル犬
ction【改善】							
3.今後の方向				1	. <u> </u>	=	— —
┛現状のまま	継続 💹レベル	レアップ 🔲 縮	i小] 実施主体	「の見直し	█ 休止・廃止	██完了
 改善点】							
今後の取組方	5金+】						
	別を検討するPT	を実施し、就学	前後の状	況確認方	法を検討して	ていく。	